



映画『桜田門外ノ変』

SAKURADAMONGAI NO HEN

大沢たかお / 長谷川京子 / 柄本明 / 生瀬勝久 渡辺裕之 加藤清史郎 西村雅彦 伊武雅刀 / 北大路欣也

原作 / 『桜田門外ノ変』吉村 昭(新潮文庫刊) 脚本 / 江良 至・佐藤純彌 監督 / 佐藤純彌
協賛 / 社団法人 いばらき映像文化振興協会 協力 / 『桜田門外ノ変』映画化支援の会・茨城県・水戸市
配給 / 東映 ©2010『桜田門外ノ変』製作委員会

『桜田門外ノ変』映画化にあたっては、茨城県と市町村が協力し、県全体がバックアップする形で地元有志が中心となり『桜田門外ノ変』映画化支援の会が発足。2010年1月にクランクインし、県内では12市町17箇所、32日間に亘るロケが行われました。

LOCATION MAP

「桜田門外の変」とは？

安政七年(1860年)3月3日、勅許なく安政の仮条約に調印・開国し、安政の大獄などで攘夷派の弾圧を行った大老井伊直弼が、水戸・薩摩の浪士らに江戸城桜田門外で暗殺された事件。この事件を機に、水戸藩に興った幕政改革をめざした学問・教育の思想が、倒幕運動を引き起こし、幕末の日本に大きな転機をもたらしました。尊王攘夷の志士たちが、列強との戦端を開き、さらには明治維新へと突き進んでいくための先駆けになりました。



映画『桜田門外ノ変』オープンロケセット・記念展示館

- 公開期間 / 2012年3月31日まで(予定)
- 会場 / 水戸市千波湖畔ふれあい広場・さくら広場
- 住所 / 茨城県水戸市千波町3080
- 料金 / (大人)800円 (小学生)500円 (団体大人10名以上) 600円 (団体小学生10名以上) 400円
- 開催時間 / 9:00~17:00 (最終入場16:00まで) ※雨天開催(荒天時以外は実施) ※季節により終了時間が変わります。
- 主催・お問い合わせ 水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会 〒310-0851 茨城県水戸市千波町3080 TEL:029-244-3941 FAX:029-303-0310



★オープンロケセット

映画の撮影を機に、水戸市千波湖畔に建設されたオープンロケセット。映画最大の山場となる桜田門外での大老・井伊直弼襲撃現場と、背景となる江戸城の桜田門外周辺(桜田門と濠、濠沿いに並ぶ彦根藩・安芸広島藩・杵築藩・米沢藩の大名屋敷など)が細かく再現されています。また、オープンロケセットには、記念展示館が併設されています。水戸藩の歴史などを学べる「桜田門外ノ変とその時代」と、映画の小道具などを展示した「映画『桜田門外ノ変』の世界」の2部構成です。この記念展示館でしか見ることのできないメイキング映像も上映されています。

11 ワープステーション江戸(つくばみらい市)



江戸城大手門、武家屋敷などが堀と一体となった江戸城ゾーンと日本橋を中心とした大店街や町屋などの賑わいを楽しめる江戸の町ゾーンで構成されており、大河ドラマ等多くの撮影で利用されています。江戸市中、長屋、鳥取城下、宿場町など、様々なシーンが撮影されました。

12 坂野家住宅(常総市)



大子・桜岡源次衛門(本田博太郎)宅として撮影されました。坂野家住宅は「四間取り」を基調に江戸時代後期に母屋を大幅に増築したもので、東側の土間や南面する客間は、入母屋造りの屋根とともに大型農家の特色をよくあらわしています。

8 木村家住宅(茨城町)

木村家は江戸時代長岡宿の脇本陣で、間屋や庄屋を勤めていました。現在の建物は1857年の大火により消失、その後建設されたものです。薩摩藩江戸藩邸や高橋多一郎(生瀬勝久)の居室として撮影されました。

9 セゴビアゴルフクラブ(かすみがうら市)

関鉄之介(大沢たかお)が越後へ向かう道中が撮影されました。

10 大場家住宅(行方市)



この住宅は、水戸徳川家初代藩主徳川頼房が領内巡視のおり、宿舎兼水戸藩南部の藩政事務所として、寛永年間(1624~44年)に建てられたものとされ、武家邸造りで「御殿」ともよばれました。郡役所や越後の喜三郎宅として撮影されました。

1 穂積家住宅(高萩市)



映画のクランクインの地。ハリス、ヒューズケンのいた下田・玉泉寺と鳥取の安達清一郎宅として撮影されました。穂積家住宅は江戸時代中期に建てられた豪農の住宅で主門、長屋門、前蔵、衣裳蔵、庭園からなっており、当時の豪農住宅を知ろうえて貴重な文化遺産となっています。

2 袋田の滝(大子町)



関鉄之介(大沢たかお)が逃亡の途中、再び水戸に戻り、この滝に立ち寄るシーンが撮影されました。日本三名瀑のひとつで、四段に落下することから別名「四度の滝」ともよばれています。大子町では他に、久慈川で関鉄之介が越後から高橋多一郎の隠れ家へ向かうシーンが撮影されました。

3 某民家(常陸大宮市)

関鉄之介(大沢たかお)がお尋ね者になったため、妻・ふさ(長谷川京子)と息子・誠一郎(加藤清史郎)はふさの実家で農作業を手伝い暮らしている。そこに、関鉄之介がそっと様子を見に来るシーンが撮影されました。

4 久慈浜(日立市)

浦賀沖に現れた黒船を関鉄之介(大沢たかお)が見にきたシーンの撮影が行われました。

5 那珂川(城里町)

関鉄之介(大沢たかお)が、越後から江戸へ戻るシーンが撮影されました。

6 茨城県民の森(那珂市)

高橋多一郎(生瀬勝久)が、息子の荘左衛門(須賀健太)と随行者3人を従え、大阪で薩摩3千の軍勢と合流するために中山道を急ぎ歩くシーンの撮影が行われました。

7 弘道館(水戸市)



水戸藩の藩校として1841年に創設。徳川斉昭公(北大路欣也)が出演するシーンが撮影されました。水戸市では他に、茨城県立歴史館の茂木家住宅で高橋多一郎の隠れ家シーン、吉田神社で桜田烈士の待ち合わせシーン、借楽園好文亭で斉昭公と松平春嶽が話し合うシーンが撮影されました。

その他の映画でも茨城が舞台に！

米(かすみがうら市)

霞ヶ浦の美しい自然を背景に、当時の貧しい農漁村に暮らす人々の生活をリアルに描いた作品。国内外で数々の映画賞を受賞。

■出演 / 江原真二郎、中村雅子 ■監督 / 今井正 ■公開 / 1957年
■主なロケ地 / かすみがうら市

甦る大地(鹿嶋市、神栖市)

荒涼とした鹿島の地を一大工業地帯に開発しようとする男たちの姿を、様々な人間模様を絡めながら描く力作。

■出演 / 石原裕次郎、司葉子、三國連太郎 ■監督 / 中村登 ■公開 / 1971年
■主なロケ地 / 鹿嶋市・神栖市・鹿島臨海工業地帯

さらば愛しき大地(潮来市ほか)

農業と工業が、新旧渾然一体となってぶつかり合う鹿行地域が舞台の人間ドラマ。監督・脚本は、潮来市出身の柳町光男氏。

■出演 / 根津甚八、秋吉久美子 ■監督 / 柳町光男 ■公開 / 1982年
■主なロケ地 / 鹿行地域各所

男はつらいよ 寅次郎真実一路(龍ヶ崎市ほか)

毎度おなじみ、美しい女性に恋をした寅さん。彼女の家が建つ牛久沼のほりに足しげく通います。

■出演 / 渥美清、大原麗子 ■監督 / 山田洋次 ■公開 / 1984年
■主なロケ地 / 龍ヶ崎市・牛久沼

HAZAN(笠間市ほか)

下館出身で「陶聖」と称された板谷波山の半生を感動的につづる、オール茨城ロケ作品。波山邸のロケセットは、北山公園内に移築されている。

■出演 / 榎本孝明、南果歩 ■監督 / 五十嵐匠 ■公開 / 2003年
■主なロケ地 / 笠間市・上市原国有林内ロケセット(北山公園に移築)・旧畜産試験場跡地、筑西市・羽黒神社 常総市・坂野家住宅・弘経寺

下妻物語(下妻市ほか)

ロリータ少女とヤンキー娘が下妻で繰り広げる、甘くない友情物語! 海外でも「カミカゼガールズ」として上映、全世界を下妻旋風が駆け抜けた!

■出演 / 深田結子、土屋アンナ ■監督 / 中島哲也 ■公開 / 2004年
■主なロケ地 / 下妻市:市内各所、牛久市:牛久大仏

恋するトマト(かすみがうら市ほか)

霞ヶ浦周辺に広がる田園地帯とフィリピンの農村で繰り広げられるラブストーリー。後継者不足など農業の抱える深刻なテーマを扱いながらも、雄大な風景に心洗われる感動作。

■出演 / 大地康雄、ルビー・モレノ、藤岡弘 ■監督 / 南部英夫 ■公開 / 2005年
■主なロケ地 / かすみがうら市:霞ヶ浦湖畔(小津地区)・JA土佐佐賀支店ほか、大子町:袋田の滝 筑西市、つくば市、桜川市

夜のピクニック(水戸市ほか)

水戸一高の伝統行事「歩く会」をテーマに描かれた、高校生の青春物語。県民エキストラ延べ5,000人が参加したオール茨城ロケ作品。

■出演 / 多部未華子、石田卓也 ■監督 / 長澤雅彦 ■公開 / 2006年
■主なロケ地 / 水戸市:水戸第一高等学校・備前堀、桜川治い、秋成排水機場近くの遊歩道橋、鹿嶋市:下津海岸 ひたちなか市:那珂川治い、那珂市:那珂西部工業団地内道路、那珂総合公園、茨城県:瀧沼治い、広浦小学校、東海村:東海南中学校

大洗にも星はふるなり(大洗町ほか)

憧れのマドンナからの手紙によって、クリスマス・イブに大洗に集まった男達が巻き起こすラブコメディ。

■出演 / 山田孝之、戸田恵梨香、山本裕典、ムロツヨシ、小柳友 ■監督 / 福田雄一 ■公開 / 2009年
■主なロケ地 / 大洗町:大貫海岸・大洗海岸・大洗灯台周辺・大洗公園駐車場、ひたちなか市:市内飲食店